

# あきた 市議会だより



子狐メイクどうかしら？（通町商店街で行われた「招福狐の行列」）

No.116

平成16年10月22日

発行 / 秋田市議会

編集 / あきた市議会だより編集委員会

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

電話 018(866)2233 FAX 018(865)7857

ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp>



「あきた市議会だより」は  
再生紙を使用しています

市のごみ減量イメージキャラクター  
エコアちゃん

## 9月定例会の概要

2 ~ 3 P

合併準備経費を中心とした補正予算を可決  
病院・水道・交通・下水道事業会計決算を認定

## 一般質問

4 ~ 6 P

## 常任委員会の審査から

7 P

## 意見書、請願・陳情の結果

8 P

# 9月定例会の概要

9月14日～  
10月5日

9月定例会では、秋田市教育職員の退職年金および退職一時金に関する条例の一部改正など条例案4件、市道路線を認定する件など単行案6件、補正予算案6件および公営企業の決算案4件をすべて可決・認定し、請願1件・陳情2件を採択しました。  
また、議員提案による意見書案6件を可決しました。

## 主な議案

### 予算

#### 市町合併関連経費

合併記念式典や河辺・雄和両地域の市民センター開所式を開催するほか、合併施行に係る広報事業や記録の作成を行います。

・補正額 1千500万円

#### 食肉衛生検査所設置準備経費

合併に伴い県から移管される食肉衛生検査所について、円滑に検査業務を遂行するために必要となる機器等を整備します。

・補正額 3千444万9千円

#### 各種業務システム統合経費

合併に伴い人事給与システム、保育・福祉資金貸付システムなど各部門の業務システムを本市のシステムに統合します。

・補正額 4千581万円

#### 農地農業用施設災害復旧事業

8月5日に発生した豪雨により災害を受けた農地および溝畔を復旧します。

・被災箇所 下浜名ヶ沢大田代・ヨモキ田、下浜八田野田  
・被災状況 溝畔決壊  
・補正額 1千809万9千円

#### 目指せスペシャリスト 研究開発事業

先進的な技術等を取り入れた教育を行っている専門高校で、ビジネス分野における「将来のスペシャリスト」育成を目的とした研究開発を行います。

・実施校 秋田商業高等学校  
・実施内容 教材の開発、ビジネス実践学習、高度資格の取得など  
・補正額 720万円

#### 戸籍・住民基本台帳事務関係経費

河辺・雄和町民用のあきた市民力ードの作成および各種帳票等の様式を統一します。

・補正額 360万9千円

### 条例

#### 秋田市太平山スキー場条例の一部を改正



オーバスがさらに利用しやすくなります

秋田市太平山スキー場のリフトの4時間使用、高齢者（60歳以上）の使用料等を設けます。

主な改正内容  
・リフトの使用料の区分（券種）の午前券、午後券および夜間券を廃止し、新たに4時間券を設けます。  
・すべての券種について、高齢者（60歳以上）の使用料を一般の25%割引にします。

#### 秋田市立学校授業料等徴収条例の一部を改正

市立の高等学校等の月額授業料を17年4月1日から改正します。

授業料（月額）

	改正後	改正前
秋田商業高等学校	9,600円	9,300円
御所野学院高等学校	9,600円	9,300円
美術工芸短期大学 附属高等学院	5,100円	4,900円

### 契約案件

#### 秋田市総合環境センター第2リサイクルプラザ（仮称）建設工事

秋田市総合環境センター敷地内に秋田市総合環境センター第2リサイクルプラザ（仮称）を建設します。

・工期 18年9月29日まで  
・施設種類 ごみ（粗大ごみ、金属類）  
破砕処理・再生利用施設  
・処理能力 32t/5h  
・契約金額 16億440万円

## 保戸野地区コミュニティセンター(仮称)新築工事

地域住民の自主的で健全な自治活動の振興を図るため、コミュニティセンターを保戸野地区に建設します。

- ・場 所 保戸野中町317番7
- ・工 期 17年6月20日まで
- ・建築面積 約738㎡
- ・部屋構成
  - 1階 会議室(大・小)、多目的スペース、多目的ホール、更衣室、事務室他
  - 2階 和室(大・小)、調理室、倉庫、多目的スペース他
- ・駐車台数 8台
- ・契約金額 2億732万2千500円

## 企業決算

今定例会では、4つの公営企業の決算認定の件が提案され、いずれの決算も認定されました。各企業の平成15年度事業報告の概要についてお知らせします。

## 病院

- ・患者の利用状況
- 入院延患者数 14万6千612人  
(前年度比7.3%減)
- 外来延患者数 36万4千154人  
(前年度比4.4%減)

## 財政状況

厳しい医療環境の中、市民のニーズに応えるとともに、安全で良質な医療を提供するため高度医療機器の整備と診療体制の充実に努めました。収入については、15年4月からのサラリーマンの医療費3割負担実施による受診抑制の影響等から、前年度比1.9%の減少となりました。一方、支出では経費の節減に努めたものの、材料費の増もあり全体では前年度比0.4%の減少にとどまり、4千579万6千円の純損失を生じ、累積欠損金は27億8千743万1千円となりました。

## 水道

- ・給水状況
- 給水世帯数 12万5千429世帯  
(前年度比1千182世帯増)
- 給水人口 31万3千534人  
(前年度比411人増)
- 普及率 99.0%
- ・財政状況

経営の根幹をなす給水収益が、長引く不況や節水意識の定着等に加え、天候も影響したことから対前年比1.1%の減となりましたが、諸経費の節減に努めたことにより、1億2千414万3千円の純利益を生じ、同額の利益剰余金を計上しました。

## 交通

### ・事業状況

乗合事業では、「駅東方面」や「泉方面」など7路線18系統を民間事業者に移管し、事業規模の縮小による効率化に努めました。貸切事業では、「ふれあいバス事業」の廃止により、太平山自然学習センター宿泊研修等の学童輸送のみ実施しました。

### ・財政状況

収入では、乗合収入が路線移管に伴う輸送人員の減少などにより、前年度に比べ1億727万5千円の減少、貸切収入は前年度に比べ1千974万3千円の減少と

なり、そのほか、一般会計補助金や建物使用料などの雑収益も減少したことにより、前年度に比べ4億8千20万7千円の減少(対前年度比27.4%減)となりました。一方、支出では、路線移管による事業規模縮小に伴い職員26名の減員による人件費の削減や経費の節減等により、前年度と比べ3億513万3千円の減少(対前年度比17.8%減)となり、1億2千925万7千円の純損失を生じ、累積欠損金は21億42万5千円となりました。

## 下水道

### ・普及状況

- 処理区内面積 4千645.6ha  
(前年度比150.5ha増)
- 処理区内人口 23万8千470人  
(前年度比6千608人増)
- 普及率 76.3%
- ・財政状況

下水道使用料が、使用料改定や水洗化の普及促進による有収水量の増加などにより、前年度と比較し11.6%の増となりましたが、減価償却費の増加等により、2千545万1千円の純損失を生じ、累積欠損金は4億5千948万4千円となりました。

## 可決・認定した議案

- 秋田市教育職員の退職年金および退職一時金に関する条例の一部を改正する件
- 住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例を設定する件
- 秋田市立学校授業料等徴収条例の一部を改正する件
- 秋田市太平山スキー場条例の一部を改正する件
- 秋田県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少についての協議に関する件
- 秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少についての協議に関する件
- 市道路線を認定する件
- 秋田市総合環境センター第2リサイクルプラザ(仮称)建設工事請負契約を締結する件
- 保戸野地区コミュニティセンター(仮称)新築工事請負契約を締結する件
- 泡原液搬送車を購入入れる件
- 平成16年度秋田市一般会計補正予算(第2号)の件
- 平成16年度秋田市農業集落排水会計補正予算(第1号)の件
- 平成16年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)の件
- 平成16年度秋田市老人保健医療事業会計補正予算(第1号)の件
- 平成16年度秋田市水道事業会計補正予算(第1号)の件
- 平成16年度秋田市下水道事業会計補正予算(第2号)の件
- 平成15年度秋田市病院事業会計決算認定の件
- 平成15年度秋田市水道事業会計決算認定の件
- 平成15年度秋田市交通事業会計決算認定の件
- 平成15年度秋田市下水道事業会計決算認定の件

# 聞きました

議案以外の市政全般にわたり、  
8人の議員が質問しました。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

## 秋水会 小松 健

分権改革 指定管理者制度 市町合併 防災体制の強化と被災者への支援策

### 三位一体改革のあるべき姿は

**問** 地方分権、三位一体改革のあるべき姿・理念と、地方六団体が首相に提出した国庫補助負担金等に関する改革案の目指すところおよび骨子についてどう考えているのですか。

**答** 三位一体改革は、財政赤字の解消と持続可能な財政構造の構築、真に必要な市民サービスへの提供を目指すもので、改革案も同様です。その骨子は、18年度までの第一期に、税源移譲を3兆円、国庫補助負担金の削減額を3兆2千億円、削減対象を中学校の義務教育費国庫負担金等とし、国と地方の協議機関の設置等も盛り込んでいます。この改革は地方分権の推進に当たり、置き忘れられてきた税源移譲が実施される第一歩と考えています。

### 台風による農作物への被害と被災者への支援策は

**問** 台風15、16、18号により、農作物は強風や塩の被害を受けていますが、その状況と被災者への支援策はどうなっているのですか。

**答** 本市の農作物の被害額は約10億円と推定され、水稲では減収と著しい品質低下、果樹では大幅な減収と、来年度以降の収穫量の減少も確実視されており、農作物全般に塩害の被害が明らかとなっています。また、支援策については、市長が知事に対し天災融資法の発動などの緊急要望を行い、現在国で検討しているほか、県で災害対策を公表しており、市でも融資制度の充実など市独自の支援策について協議し、早期に支援策を示す考えです。



台風により果樹園も大打撃を受けました

## 市民クラブ 菅原弘夫

市長の政治姿勢 合併後の新市における諸課題 都市内地域分権 交通政策の具体的な方策 土地利用計画と都市計画の推進 中通一丁目地区市街地再開発事業 メディカルフロントロル体制における気管挿管 電子入札システムの導入と雇用の確保 社団法人シルバー人材センター 民生委員 墓地需要調査 南部地域の諸問題

### 都市内地域分権の拠点施設は

**問** 合併後の新市の、各地域における市民サービス拠点となる施設について、具体的には、どこを想定しているのですか。

**答** 都市内地域分権の拠点施設の整備を盛り込んだ「緑あふれる新県都プラン」では、プランの前期に西部、北部地域に市民サービスセンターを、河辺・雄和両地域には役場を改修した市民サービスセンターを、後期に東部、南部地域に市民サービスセンターを整備することとしており、建設地等は今後検討していきます。

## 交通政策の具体的な方策は

**問** バス路線の民間移管後、新市において、赤字路線が運行不可能となった場合、交通弱者の移動手段をどう確保するのですか。

**答** 新市における郊外部の不採算路線については、本市が事業主体となり、バス事業者に運行を委託する委託運行を導入することとしており、来年度からの一部地域での試験運行実施を検討しています。また、バス事業の安定化のため、バス事業者に対し路線再編等により経費の削減を促進させるとともに、行政による適切な支援が不可欠と考えています。

## フォーラム21 土田 整

地元経済の活性化 中央街区のまちづくり 「千秋公園」「久保田城」にまつわる歴史的遺産の整備等 地産地消 「秋田わか杉国体」の開催

### 地元経済の活性化が急務では

**問** 地元経済の活性化が急務と考えますが、対応策はどうなっているのですか。

**答** 本市では、地元中小企業が設備投資等に取組む場合には、県と連携して融資斡旋制度による資金面の支援を行うほか、商店街が行う事業に対し事業費の一部を補助しています。また、チャレンジオフィスあきたでの起業家の育成や、企業データベースの構築等による既存中小企業の情報化を支援しているほか、企業誘致に努め雇用機会の拡大や本市経済基盤の底上げを図っています。さらに、交流人口の増加による経済活性化を図るため、中長期的な見地から文化・歴史など地域資源を活用したまちづくりに取り組む考えです。

# 一般質問

# 市政について

## 中央街区の開発整備に

早急に取り組むべきでは

**問** 中央街区の開発整備に早急に取り組む意向はありますか。

**答** 中央街区については、県都秋田市の玄関口にふさわしい顔づくりや、都市機能の集積を図る必要がある地区と認識しています。このため、4核1軸構想を立案し、秋田駅舎の改築、秋田駅東西連絡自由通路、秋田拠点ゼンターアルヴェなど、中央街区とその周辺地区の整備改善と商業等の活性化に取り組んできました。厳しい経済・社会情勢ですが、行政と民間の適切な役割分担を図りながら、活力ある中心市街地の形成に努めます。

## 社会・市民連合 石川ひとみ

男女共生社会の実現 水環境 教育行政  
少子高齢化社会 農業 投票率アップに向け  
た取り組み 街路樹

## 子どもの発達段階に応じた 性教育の取り組みを

**問** 性感染症にかかったり、中絶をする子どもがふえています。自分の将来を見据え、自分を大切にできるように、心と健康も併せた性教育をすべきではありませんか。

**答** 性教育については、各校で保健学習に限らず、総合的な学習の時間や道徳等と関連を図って取り組んでおり、その際、児童生徒の発達段階に応じた指導や、心や健康との関連には十分配慮しています。また、健康教育・性教育推進委員会を設置し、専門家の提言をいただくとともに、性教育に関する課題研究推進校を委嘱し、実践研究に努めています。

## 元気な高齢者のための

地域づくり対策は

**問** 元気な高齢者が楽しく暮らすための、多様なライフスタイルを選択できる地域づくりについてどのように考えているのですか。

**答** 高齢者が元気に過ごせる福祉のまちづくりのためには、行政による支援、地域での支え合い、個人の自助努力の連携を図ることが必要と考えています。本市では、老人いこいの家でのいきいきサロンや、高齢者バス優遇乗車助成等の高齢者福祉サービスの実施のほか、健康づくりや生きがい、社会参加に関する支援と情報提供を行っています。また、秋田市ふれあい福祉基金を活用した高齢者のつどいなど地域のボランティアが行う福祉活動を支援しており、今後も公・共・私協働による福祉のまちづくりを推進します。



熱心に作品づくりに励む皆さん（けやき大学の陶芸教室）

## 公明党秋田市議会 堀井明美

市役所の業務改善 裁判員制度の導入 学校教育 小児救急電話相談事業 DV 災害時の対応 県中央食肉衛生検査所の移管

## 災害時の情報提供の対応は

**問** 携帯電話のメールアドレスの登録により、自動的に情報が配信される災害時情報提供システムの早期構築について検討状況はどのようになっているのですか。

**答** 災害時における市民への情報提供は、被害の軽減のみならず社会的混乱や二次災害の防止策として、市民の適切な判断や行動を援助するためにも重要と認識しています。そのため本市では、情報を個別に配信する機能も有する複数の受信媒体に同時送信等が可能な災害時情報提供システムの導入に向けて、現在、環境整備を進めています。

## 県中央食肉衛生検査所移管 に関する県との協議状況は

**問** 県に対して、人的、財政的支援を求め協議しているようですが、協議の状況はどのようになっているのですか。

**答** 県との協議で、人的支援については今年度は獣医師全員を市に派遣してもらい、17年度以降は市議員への身分移管や職員採用のほか、体制が整うまでの一定期間、県から職員派遣を受けることとしています。また、財政的支援については、検査所の運営に多額の財政負担が見込まれるため、食肉の県内外の広域流通、と畜場設置の経緯、県全体の畜産振興や円滑な市町合併の支援という観点から、県に応分の財政支援を要望したところです。

## 一般質問

# 市政について聞きました

日本共産党  
秋田市議会議員団 明石 叡

市長の政治姿勢 市内海水浴場の安全対策  
台風被害の対策 教育 駐輪場の整備 道  
路の整備 まちづくり 除排雪

### 学校活動に対する 地域住民の協力体制の充実を

**問** 「開かれた学校づくり」を目指し、地域の教育力を学校活動に活かすため、学校支援ボランティアとして地域住民の協力体制を充実させる考えはありませんか。

**答** 本市では、各校で教科や総合的な学習の時間、学校行事などに、専門的な知識や技術を持つ地域の方を外部講師として招き、特色ある学習を展開しています。例えば本の読み聞かせ、地域の歴史案内ボランティアなど、学校のニーズにあった支援が地域の方々の協力で進められているところです。教育委員会としての組織づくりについては、他自治体などの情報を収集しながら研究していきます。

### 秋田駅周辺の駐輪場整備等について

**問** Weロードを自転車で行き来できるよう、西側の工事を促進すべきではないですか。また、連結した駐輪場を新設できませんか。

**答** Weロード西側昇降口は、秋田中央道路建設工事の作業ヤードとなっており、その使用が終了する17年秋以降、改修事業に着手できるよう協議中です。また、同駅周辺の公営駐輪場の収容台数は、必要台数3千500台に対し4千180台で、十分に確保されていると認識していることから、Weロードに連結した場所を含め、駐輪場の設置は考えていません。

秋水会 三浦芳博

中通一丁目地区第一種市街地再開発事業  
積極的な港湾施策の実施 本市行政における  
民意の把握とその反映方策 一つ森公園の  
利用 東京事務所 公用車の集中管理

### 本市行政における民意の把握と その反映方策は

**問** 真の民意をもっと積極的、かつ、正確に把握すべきではありませんか。また、民意をどのように施策に反映させていくのですか。

**答** 市民の市政参加の機会を確立し、市民の持つ意見や情報、知識などを市の計画等に反映させることを目的として、(仮称)市民公聴条例をつくり、寄せられた意見を総合的に配慮し意思決定していきます。また、市民協働推進プロジェクトにおいて、日常生活の課題を市民と市が共通の目的を持って解決に当たることができる仕組みづくりなどを、部局横断的に検討しているところであり、その結果を今後の市政運営に生かしていきます。

### 積極的な港湾施策の実施を

**問** 工業集積都市である北上市からの物流促進や東京での企業誘致活動として、社団法人秋田県貿易促進協会と共同でポートセールスセミナーを一定期間開催してはどうですか。

**答** 秋田港の定期コンテナ航路は東北最多の週6便サービスを提供し、取扱量も東北第2位となっていることから、北上市や首都圏でのポートセールスセミナーで、これら秋田港の有利性をPRすることは、大変有益なことであり、秋田県貿易促進協会および県との共同開催を具体的に検討しているところです。

秋水会 高橋智徳

生活保護 入札制度 子供の育成 秋田拠点センターアルヴェの利用状況と市民サービスセンターの利用に伴う駐車料金 職員の採用

### 生活保護制度の改善申し入れは

**問** 生活保護の受給世帯数と15年度の廃止世帯数、扶助費の財源割合はどうなっているのですか。また、生活保護は法定受託事務ですが、制度の改善等について、国に対し、どのような申し入れをしているのですか。

**答** 16年9月1日現在の生活保護受給世帯数は3千335世帯で、受給者数は4千796名となっており、15年度で保護を廃止した世帯数は260世帯、343名となっています。扶助費の財源割合は、国が4分の3、市が4分の1の負担となっています。また、国への申し入れについては、これまで、保護基準の見直し等を厚生労働省に要望しているところであり、今後とも、適正保護の実施に鋭意努めていきます。

### 工事を施工している業者の 入札参加についての考え方は

**問** 既に工事を受注し施工している業者が、他の工事入札に参加することについて、どのように考えているのですか。

**答** 工事を施工している業者が、他の工事の入札に参加することについては、契約遂行が可能であれば、幅広く入札に参加することは、とりわけ問題はないと考えています。施工能力のある業者を希望する入札に参加させることは、公平で透明性のある入札制度を確立させていくものと考えています。

# 常任委員会の審査から

9月定例会の各常任委員会で交わされた質疑応答の中から主なものを掲載しています。



## 総務委員会

**問** 合併の効果の一つに経費節減を掲げていることから、来年1月11日の合併施行日に開催が予定されている合併記念式典、祝賀会については、イベント会社等に委託する部分を減らし、できるだけ職員を動員して行うべきではないでしょうか。

**答** 合併記念式典等を市民とともに祝うイベントとして位置づけしており、民間会社への委託によって、民間のノウハウも十分活用しながら事業を実施していくことを計画したものです。合併施行日は、河辺・雄和両地域の市民センター開所式、合併記念式典、祝賀会と行事が終日行われることとなりますが、華美にならないよう留意しながら、事業内容についても十分精査し、実施していきたいと考えています。

## 厚生委員会

**問** 市立秋田総合病院での未収金対策について、これまでの手法ではあまり効果が上がっていないように思えますが、別の手法について検討はしていないのですか。

**答** 未収金のかなりの部分を入院収益が占めています。これは、退院する日が土・日曜日になる場合、閉院日により請求の計算ができないことがあり、退院後に請求をしていることが影響していると思われることから、今後は退院前に請求をし、できる限り支払い後に退院をしてもらうことを考えています。また、入院中の方でも前回入院時の未収分がある方もおり、事務方と看護師が十分相談して本人やその家族に督促することや、分割納付・貸付制度について説明し相談に乗ることなどの方法を検討しています。

## 教育産業委員会

**問** 秋田商業高校で実施予定の目指せスペシャリスト研究開発事業の具体的な内容はどのようなものですか。

**答** 本事業は文部科学省の指定を受けて実施するものであり、指定により学校独自の科目の創設が可能となります。具体的には、14、15年度に実施した通町商店街でのビジネス実践学習を進化させた学校設定科目の創設、普通教科と専門教科を統合した新しい視点のビジネス教育の創設、生徒一人ひとりの力に応じた資格の取得、これら3つを統合した学校設定科目の創設に取り組むことにより、秋田商業高校の創立の理念に沿った起業家の育成を目指すものです。



昨年のビジネス実践学習

## 建設委員会

**問** 水道事業会計決算について、収益的収入と利益額が減少傾向にある中、企業債残高は一向に減っていませんが、今後の見通しはどうですか。また、企業債を償還しながら、老朽管の更新など必要な事業を行わなければならないと思いますが、企業経営の見通しはどうですか。

**答** 企業債残高は、14年度末でピークを迎え、15年度末でも300億円を超えています。16年度末では300億円を切り、以後減少するものと見込んでいます。

また、経営の見通しについては、経営の根幹をなす給水収益は減少傾向にあり、今後も伸びが期待できない状況にある中、ここ8年間ほど赤字が続いているものの、経営の健全性の目安となる、内部留保資金は年々減少しており、憂慮すべき状況にあります。このような状況で、安全で安定した水を供給するために必要な事業は、今後とも行っていく必要があり、事業の優先性や費用対効果を見極めながら、適切な選択を行い、より一層内部努力を進めていきます。

## 7月臨時会の概要について

7月22日(木)、23日(金)の2日間、7月臨時会が開催されました。

臨時会では、「秋田市、河辺郡河辺町および同郡雄和町の廃置分合に関する件」、「秋田市、河辺郡河辺町および同郡雄和町の廃置分合に伴う農業委員会の委員の任期についての協議に関する件」など、本市と河辺・雄和両町との市町合併に関連した単行案4件と、合併に伴う電算システムの統合関係経費などの補正予算案2件が審議され、いずれも可決されました。

## 閉会中の動き

6月定例会閉会後から9月定例会開会までの議会の主な活動状況は次のとおりです。

6月	29日	全員協議会
7月	5日	総務委員協議会
	6日	教育産業委員協議会
	7日	議会だより編集委員会
	9日	議会だより編集委員会
	20日	厚生委員会
	26日	教育産業委員会行政視察(28日まで)
8月	31日	議会運営委員会

## 決算特別委員会開催のお知らせ

平成15年度一般会計・特別会計歳入、歳出の決算認定等のため、10月21日に臨時会が開催され、決算特別委員会を設置して決算認定の件を付託しました。なお、決算特別委員会は次の日程で審査を行う予定です。

・日程予定	10月26日	一般会計歳出
	27日	一般会計歳入
	28日	一般会計歳出・歳入、特別会計
・会場	29日	討論、採決
		市役所正庁

## 請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者(代表者)の住所を記載、氏名については署名または記名押印のうえ、定例会開会の3日前までに議長あてに提出してください。なお、請願書の場合には、紹介議員の署名または記名押印が必要となります。



## 市議会を傍聴しませんか

市議会では、本会議とすべての委員会が傍聴できます。年に4回開催される定例会の日程予定や質問予定者については、開会の2週間前頃から、市民課、各支所、アルヴェ内市民サービスセンターや公民館に張り出します。また、市議会のホームページでもお知らせしています。  
<http://www.city.akita.akita.jp>

請願・陳情および傍聴の手続きについては、議会事務局までお問い合わせください。  
電話(866)2233

## 意見書

秋田市議会の意見として、国会および関係行政に提出しました。

- ・北方四島返還問題の解決促進等に関する意見書
- ・障害者支援費制度の改善と財源確保に関する意見書
- ・消費者保護法制等の早期確立に関する意見書
- ・犯罪被害者の権利と被害回復制度の確立に関する意見書
- ・日本郵政公社による現行経営形態の堅持に関する意見書
- ・玄米に係る農産物検査制度の見直しに関する意見書

## 請願・陳情の結果について

9月定例会では、請願2件および陳情7件を審議しました。その結果についてお知らせします。

### 採 択

- 請願 犯罪被害者の権利と被害回復制度の確立に関する意見書の提出について
- 陳情 日本郵政公社による現行経営形態の堅持に関する意見書の提出について
- 陳情 不必要な農薬の使用を助長する農産物検査制度の見直しに関する意見書の提出について

### 不採 択

- 陳情 生活保護の国庫負担の削減と生活扶助基準の引き下げ中止に関する意見書の提出について

### 継続審査

- 請願 株式会社の農地取得を禁止し、農民経営が持続できる農地制度の存続に関する意見書の提出について

ほか、陳情4件

### 編集後記

自然の恩恵を受けて暮らす私たちですが、台風15、16号等は大きな被害をもたらし、改めて自然の恐ろしさを感じ知らされるとともに、防災対策の重要性を再認識しました。被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げます。(編集委員 花田清美)

### 次回の定例会は

12月の予定です。